一般社団法人
日本知的障がい者卓球連盟

ご協賛のお願い

2023

一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟

ご挨拶

この度、日本知的障がい者卓球連盟の会長を仰せつかりました 武居 和子 と申します。

皆様におかれましては、日頃より障がい者スポーツや卓球競技、また当連盟の運営に多大なるご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

当連盟は卓球というスポーツを通じて、障がい者にとって活躍の場の提供や、社会活動として新たなコミュニティー形成をする一助ができればという思いから活動を行っております。

近年卓球はオリンピックや世界選手権での活躍もあり、非常に大きな盛り上がりを見せております。
また、健康スポーツとしても注目を集めており、幼い子供からお年寄りまで幅広い年代の方々がお楽しみいただける競技であります。

当連盟からもこれまでパラリンピックや世界大会への選手派遣を行っており、障がい者卓球の普及、発展とともに競技力の向上に努めてまいりました。

これからも、障がい者の方々が卓球を通じて輝き、活躍できる環境を整える活動を微力ながら精いっぱい行っていく所存でございます。

しかしながら、現時点では競技を取り巻く環境や当連盟の運営に関わる状況は厳しいといわざるを得ません。

ご関係の皆様におかれましては今後より一層のご支援、お力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

日本知的障がい者卓球連盟
会長　武居 和子

ご協賛募集主旨

東京2020パラリンピックを契機に障がい者スポーツ全体への関心は非常に高まりを見せました。

しかしながら、知的障がい者卓球を取り巻く環境はいまだ十分とは言えません。

2016年リオのパラリンピックには2名の選手しか代表になれませんでしたが、2020東京パラリンピックには5名の選手を出場させることが出来ました。中でも、伊藤槙紀選手が連盟初の銅メダルを獲得、竹守彪選手と浅野俊選手が5位を果たしメダルに手が届くところまで成長して来ました。

今後、安定的な競技環境を維持するためには、助成金のみならず、幅広いご支援を頂戴することが喫緊の課題となっております。連盟は、障がい者卓球の魅力を発信することにより、彼らの活躍の場を広げ、ひいては共生社会の実現につなげるべく、みなさまのお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

このたび、ご協賛いただくためのマーケティングプログラムを整理いたしましたので、是非ともご検討いただければ幸いに存じます。

連盟の目的・事業内容／沿革

一般社団法人
日本知的障がい者卓球連盟

【連盟の目的】

①卓球を通じた知的障がい者の活躍の場の提供および整備

②世界で活躍できる知的障がい者卓球選手の育成

③連盟活動の告知や認知などの広報活動

【主な事業内容】

・IPC（国際パラリンピック委員会）、VIRTUS（国際知的障害者スポーツ連盟）等の主催する大会等へ日本選手団を派遣

・本連盟の主催又は主管する競技大会の運営

・本連盟は（公財）日本スポーツ協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会、(公財)日本卓球協会、都道府県障害者スポーツ協会、都道府県卓球協会、都道府県障害者関係団体と協力し、普及・振興及び指導者の育成

・国際大会で活躍できる強化指定選手の発掘並びに強化・育成・サポート

・本会の発展に功績のあった個人及び団体の表彰

・その他、本会の目的を達成するために必要な事項

【沿革】

1998	5	FIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会初開催（現在、パラIDジャパン・チャンピオンシップ大会）
	7	第１回INAS-FMHアジア・南太平洋卓球選手権大会派遣・参加
	10	IPC世界卓球選手権大会（フランス・パリ）派遣・参加(80p)
1999	3	日本知的障害者卓球連盟設立
	4	日本卓球協会加盟
	10	INAS世界選手権大会(クロアチア)選手派遣
2000	10	シドニーパラリンピック選手３名派
2001	7	INAS-FIDアジア・南太平洋地域卓球選手権大会開催
2002	3	FIDジャパン・チャンピオンリーグ卓球大会初開催（現在、パラID全日本卓球選手権大会）
2003	10	2003INAS-FID世界選手権大会(メキシコ)選手８名派遣
2004	9	アテネパラリンピック(公開競技)選手２名派遣
2007	10	2007INAS-FID世界卓球選手権大会(千葉)選手１４名派遣
2009	9	東京2009アジアユースパラゲームズ選手２名派遣
2011	11	FIDジャパン・ユースオープン卓球大会初開催（現在、パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会）
2012	8	ロンドンパラリンピック選手１名派遣
	11	マイクデンプシー記念卓球大会(アメリカ)選手９名派遣
2013		海外オープン大会に選手派遣
2014	9	ITTFパラ世界選手権大会(北京)女子団体優勝・文科省ｽﾎﾟｰﾂ功労者顕彰
	10	アジアパラリンピック競技会(仁川)男子個人優勝・文科省ｽﾎﾟｰﾂ功労者顕彰
2015	9	INAS-FIDｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ大会(ｴｸｱﾄﾞﾙ)選手４名派遣団体2位・ｽﾎﾟｰﾂ庁ｽﾎﾟｰﾂ功労者顕彰
2016	3・9	一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟に改名　リオデジャネイロパラリンピック選手２名派遣
2017		海外オープン大会に選手派遣(ｽﾛﾍﾞﾆｱ・ｽﾛﾊﾞｷｱ・ｽﾍﾟｲﾝ・ﾄﾞｲﾂ・北京・韓国・ﾀｲ等)
2018		アジアパラ競技大会(ジャカルタ)選手５名派遣，他 国際大会３大会　選手１０名派遣
2019	10	INASグローバルゲーム・ズブリスベン大会　選手６名派遣
		アジア選手権大会(台湾)選手６名派遣，他 国際大会５大会(タイ、チェコ、オランダなど)　２８名派遣
2021	5	東京2020パラリンピック最終予選大会(スロベニア)選手２名派遣
	8	東京2020パラリンピック選手５名派遣　女子シングルス銅メダル獲得
2022		海外オープン大会に選手派遣
	11	ITTFパラ世界選手権大会(ｽﾍﾟｲﾝ)選手６名、VIRTUSオセアニア・アジアゲームズ(ｵｰｽﾄﾗﾘｱ)選手８名派遣

組織・体制／役員　（2022年度組織図）

一般社団法人
日本知的障がい者卓球連盟

※2022年６月現在

社員総会

理事会

専門部

専門委員会

運営委員会
委員長　武居　和子

役員推薦委員会
委員長　石川　一則

コンプライアンス委員会
委員長　高松　政裕　弁護士

監　事
- 市川　政男
- 石渡　篤美
- 小野寺右耕

会　長
武居　和子

副会長
- 河原　智
- 柏木　眞子

理事長
石川　一則

業務執行理事
- 河原　智
- 鈴木　一
- 石川　一則
- 柏木　眞子
- 金沢　明子
- 中村孝太郎

理事

北海道	椙下　博
東北	吉田眞由美
関東	佐藤　優子
北信越	長谷川寿史
東海	山本　健児
近畿	倉谷　義数
中国	岩本 隆司
四国	西本　清己
九州	仲松　智

強化・普及部
部長　鈴木　一

- **強化戦略委員会**　委員長　鈴木　一
- **選手・コーチ選考委員会**　委員長　柏木　眞子
- **普及拡大・推進委員会**　委員長　河原　智
- **アスリート委員会**　委員長　中村孝太郎
- **女性スポーツ委員会**　委員長　金沢　明子
- **医・科学スポーツ委員会**　委員長　鈴木　一

大会事業部
部長　柏木　眞子

- **大会準備・運営委員会**　委員長　柏木　眞子
- **組み合わせ委員会**　委員長　柏木　眞子

総務部
部長　金沢　明子

- **マーケティング委員会**　委員長　津本　昭
- **広報委員会**　委員長　勝　康雄

事務局（渉外含む）

事務局長	金沢　明子

総務・財務／強化・国際／大会事業／広報／マーケティング

ビジョン・方針／ロードマップ

1．国内登録者は、現在約250名、国内大会の参加者数は約180名。現在男子のアジアチャンピオンや国際オープン大会での優勝者や入賞者を多く輩出している。
2．ロンドンパラには男子1名、リオパラには男女計２名、東京パラには男女計5名の派遣を実現し、年々実力が向上している。
3．東京2020パラリンピックでは、連盟初のメダル獲得。（伊藤槙紀選手　銅メダル）
4．2023年以降も継続した強化活動の継続や国際大会の派遣を行う。加えて普及活動や広報活動を継続的に行い、国内大会参加者数200名、登録選手数300名を目標に持続的な活動を行っていく。
5．2024年のパリパラリンピックでは金メダルの獲得を目標とする。

◆年間3大会の国内全国大会の開催
◆年間約８回のナショナルチームや強化指定選手の合宿実施
◆年間8～10大会の国際大会へ選手を派遣

メダル獲得

継続的な支援と活動

日本でも障がい者スポーツの普及と発展の基盤が確立され、持続的に活動が展開

・国内大会の開催
・国際大会への参加
・先端機材の投入
・既存選手強化
・次世代選手の発掘

・国内外大会参加の維持
・次世代選手の成長と循環

代表選手
男女計２名を派遣
2016年
リオ
オリンピック
ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ

代表選手
男女計5名を派遣
銅メダル　1　獲得
2021年
東京2020
オリンピック
パラリンピック

強化指定選手の選出 ⇒⇒⇒ 金メダル挑戦

2023年６月
パラID
ジャパン・チャンピオンシップ

2023年12月
パラID
全日本卓球
選手権大会

2024年
パリ
オリンピック
ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ

強化指定選手　（2022年度）

一般社団法人
日本知的障がい者卓球連盟

当連盟主催の３大会「パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会」「パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会」「パラID全日本卓球選手権大会」で好成績を収めることにより、強化指定選手に選出

【男子】

（NT選手）	竹守　彪
生年月日	1993年10月
出身地	千葉県
戦型	右シェーク
世界ランキング	7位
主な戦歴	東京2020パラ　5位入賞 チャンピオンリーグ2021　優勝

（NT選手）	浅野　俊
生年月日	2001年8月
出身地	長崎県
戦型	右シェーク
世界ランキング	8位
主な戦歴	東京2020パラ　5位入賞 チャンピオンシップ2020　優勝

（NT選手）	加藤　耕也
生年月日	1993年2月
出身地	神奈川県
戦型	右シェーク
世界ランキング	9位
主な戦歴	東京2020パラ代表 チャンピオンシップ2020　3位

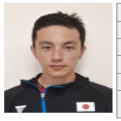
（NT選手）	原　一
生年月日	1996年10月
出身地	神奈川県
戦型	右シェークカット
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンリーグ2021 準優勝

（NT候補選手）	高橋　利也
生年月日	1993年7月
出身地	京都府
戦型	右ペン
世界ランキング	16位
主な戦歴	INASグローバルゲームズ2019　男子団体優勝

（NT候補選手）	藤原　立
生年月日	2000年4月
出身地	兵庫県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンシップ2021 4位

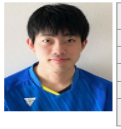
（NT候補選手）	久保　貴裕
生年月日	1999年7月
出身地	熊本県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンリーグ2021 5位

（育成選手）	吉田　友也
生年月日	2003年9月
出身地	滋賀県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンシップ2021 6位



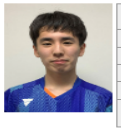
（育成選手）	山本　駿太
生年月日	2000年11月
出身地	佐賀県
戦型	左シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンシップ2021 5位

（育成選手）	吉川　碧人
生年月日	1998年9月
出身地	神奈川県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンリーグ2021 12位



（次世代育成選手）	谷地田　想
生年月日	2001年4月
出身地	秋田県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンリーグ2021 10位

（次世代育成選手）	吉岡　駿佑
生年月日	2002年12月
出身地	福岡県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンシップ2021 8位



（次世代育成選手）	島根　大貴
生年月日	2001年10月
出身地	千葉県
戦型	右シェーク
世界ランキング	-
主な戦歴	チャンピオンリーグ2021 11位

【女子】

（NT選手）	古川　佳奈美
生年月日	1997年7月
出身地	福岡県
戦型	右シェーク
世界ランキング	4位
主な戦歴	東京2020パラ　代表 チャンピオンリーグ2021　優勝

（NT選手）	山口　美也
生年月日	2002年2月
出身地	滋賀県
戦型	右シェークカット
世界ランキング	—
主な戦歴	チャンピオンシップ2021 優勝

（NT選手）	伊藤　槙紀
生年月日	1984年9月
出身地	神奈川県
戦型	右シェーク
世界ランキング	10位
主な戦歴	東京2020パラ3位　銅メダル チャンピオンシップ2019　優勝

（NT選手）	櫨山　七菜子
生年月日	1996年7月
出身地	埼玉県
戦型	右シェーク
世界ランキング	16位
主な戦歴	バンコクオープン2019　準優勝

（NT候補選手）	美遠　さゆり
生年月日	1994年4月
出身地	新潟県
戦型	右シェーク
世界ランキング	14位
主な戦歴	チャンピオンリーグ2019 優勝

（NT候補選手）	川崎　歩実
生年月日	1992年9月
出身地	広島県
戦型	右シェーク
世界ランキング	21位
主な戦歴	バンコクオープン2019　3位入賞

（育成選手・次世代育成選手）	和田　なつき
生年月日	2003年8月
出身地	大阪府
戦型	右シェーク
世界ランキング	—
主な戦歴	チャンピオンシップ2021 4位

（育成選手・次世代育成選手）	太田　歩美
生年月日	2001年11月
出身地	長崎県
戦型	左シェーク
世界ランキング	—
主な戦歴	チャンピオンシップ2020 4位

（育成選手・次世代育成選手）	山本　美貴子
生年月日	2000年3月
出身地	兵庫県
戦型	左シェークカット
世界ランキング	—
主な戦歴	チャンピオンシップ2020 8位

2022年度活動実績（上：国内外試合、下：強化合宿）

一般社団法人
日本知的障がい者卓球連盟

大会名	開催国	大会期間	男子派遣選手	女子派遣選手	主な結果
フレンチオープン	フランス	5月5日～8日	竹守・浅野 加藤・吉川	古川・伊藤 櫨山・美遠	女子S銀：美遠、銅：古川、伊藤　男子W銅：竹守・加藤 混合W銀：加藤・伊藤、銅：竹守・櫨山
スロベニアオープン	スペイン	5月11日～14日	竹守・浅野 加藤・吉川	古川・伊藤 櫨山・美遠	男子S銀：竹守、銅：加藤　女子S銅：伊藤 混合W銀：竹守・櫨山、銅：浅野・美遠
パラIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2022	日本（横浜）	6月11日～12日	93名参加	26名参加	男子S優勝：浅野　男子W優勝：竹守・島根 女子S優勝：山口　女子W優勝：和田・太田
チェコオープン	チェコ	6月20～26日	コロナ禍のため派遣中止		
タイオープン	タイ	7月16～22日	コロナ禍のため派遣中止		
パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会2022	日本（新発田）	9月23日～24日	59名参加	15名参加	男子優勝：北道（10代）・竹守（20代）・堀内（30代以上） 女子優勝：和田（10代）・美遠（20代）・松田（30代以上）
アジアパラ	中国（杭州）	10月7日～16日	コロナ禍のため来年10月に延期		
世界パラ卓球選手権	スペイン	11月3日～13日	竹守・浅野・加藤	古川・伊藤・美遠	女子S銅：伊藤　男子W銀：竹守・加藤 混合W銀：浅野・古川
VIRTUSオセアニア・アジアゲームズ	オーストラリア	11月4日～11日	原・吉田 山本・吉川	山口・川﨑 和田・太田	男子S銀：原、銅：山本　男子W金：原・山本 女子S金：山口、銅：川﨑 女子W金：山口・川﨑、銅：和田・太田 混合W金：山本・和田、銀：原・山口、銅：吉川・川﨑
パラID全日本卓球選手権大会2022	日本（横浜）	12月17日～18日	107名参加	33名参加	男子優勝：原 女子優勝：山口
スペインオープン	スペイン	3月9日～11日	竹守・加藤	山口・伊藤	
リニャーノオープン	イタリア	3月15日～18日	加藤・原	山口・伊藤・櫨山	

名称	合宿地	期間
第1回NT合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	4月15日～18日
第1回次世代合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	5月20日～23日
第1回NT候補合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	7月１日～4日
第2回NT合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	9月9日～11日

名称	合宿地	期間
第3回NT合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	10月21日～10月24日
強化選手合宿	岐阜県福祉友愛アリーナ	11月26日～28日
第4回NT合宿	味の素ナショナルトレーニングセンター	1月20日～23日

連盟の課題

2024年
パリパラリンピックへの準備

・メダル獲得に向けた代表選手の強化の充実
・2023ジャパンオープン国際大会の開催

組織運営

・組織の運営態勢の強化
・事務局体制の整備
・適切なガバナンスの構築

強化・普及活動

・パラ代表選手の育成・強化
・次世代選手の発掘・育成
・知的障がい者卓球の普及拡大

財政基盤の確立が急務

2023マーケティングプログラム

契約種	協賛金／年	内容
契約①	¥100,000	・ホームページ(年間約3万ページビュー閲覧)へのバナー・リンクの貼り付け。 ・大会プログラム(年間約1000冊)への広告の掲載(カラー1ページ)※1
契約②	¥300,000	契約①+呼称権の使用、集団肖像権並びに当連盟のロゴの使用
契約③	¥500,000	契約②+日本代表選手公式ユニフォーム(ジャージ胸**A**)への広告掲載権※2
契約④	¥1,000,000	契約③+日本代表選手公式ユニフォーム(ショーツ右腿**B**&ゲームウェア左肩袖**C**、もしくは、ショーツ右腿**B**&ゲームウェア右肩袖**D**、もしくは、ウェア腹部**E**小)への広告掲載権※2
契約⑤	¥2,000,000	契約③+日本代表選手公式ユニフォーム(ゲームウェア腹部**E**大)への広告掲載権※2
契約⑥	¥3,000,000	契約⑤+当連盟主催全国大会のうち一大会において大会メインスポンサーとしての契約(大会名にスポンサー名を入れる)

※１…広告の掲載箇所に関しては、スポンサード金額に応じて当連盟にて決定させていただきます。
※２…公式ユニフォームの広告掲載箇所には限りがあるため、スポンサード金額や優先度に応じて当連盟にて決定させていただきます。

【日本代表選手公式ユニフォーム　ロゴ位置】

<ショーツ>

=女子用=

<ジャージ>

=女子用=

<ゲームウェア>

=女子用=